

平成 24 年 7 月 11 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦
(コード番号:4321 東証一部)
問 い 合 せ 先 執行役員経営企画部長 田島 正彦
電 話 番 号 (03)3519-2530

平成 24 年 6 月末時点の受託資産残高(AUM)について

当社グループの AUM は、下記の通り平成 24 年 4 月から 6 月末までの第 2 四半期において 76 億円の純増となり、平成 24 年 6 月末時点において 1 兆 1,175 億円となりましたのでお知らせ致します。

記

<AUM の推移>

	増加額	減少額	純増減	受託資産残高
平成 23 年度期末	—	—	—	1 兆 1,113 億円
平成 24 年度 第 1 四半期	142 億円	158 億円	△15 億円	1 兆 1,098 億円
平成 24 年度 第 2 四半期	315 億円	238 億円	76 億円	1 兆 1,175 億円
平成 24 年度 上半期累計	458 億円	397 億円	61 億円	1 兆 1,175 億円

平成 24 年第 2 四半期においては、オフィスや商業施設に関する新規ファンド組成や J-REIT の物件取得等を中心として合計 315 億円の AUM 増加に成功した一方、引き続き物件売却が順調に推移したことにより、AUM 減少額が 238 億円となった結果、最終的な AUM 純増減額は、第 2 四半期では 76 億円の純増となり、平成 23 年度期末比では 61 億円の純増となりました。

当社グループは、今後も引き続き市場環境の変化に柔軟に対応し、受託資産残高の成長を着実に進めていく所存です。

以 上

注: 当社グループでは、以下の基準で受託資産残高の集計を行っています。

- 当社グループがアセットマネジメント業務等を受託している不動産案件が対象です。
- 取得時の物件購入価格(税抜)で集計し、取得付随費用やバリューアード費用(物件価値を上昇させるための資本的支出)等のコストについては、本来は会計上の簿価を構成するものですが、受託資産残高には含まれていません。
- 当社グループが一時的に自己勘定で取得し、アセットマネジメントを行っている物件が含まれています。また、当社の関係会社が資産運用を受託している J-REIT(ケネディクス不動産投資法人、ケネディクス・レジデンシャル投資法人、および日本ロジスティクスファンド投資法人)が保有する物件も含まれています。
- 受託資産残高は、今後の受託資産の売却等により減少する可能性があります。